

## Ⅶ. 大学研修会におけるFD活動報告

平成 22 年 3 月 9 日(火)、本学 621 教室にて、平成 21 年度大学研修会が開催された。本研修会は例年、本学の教育研究企画委員会が実施するもので、本年度は、4 部門からの報告があった。

はじめに総合教育研究センター長より、開会の辞として本研修会の意義とこれまでの研修会について、さらに本研修会のプログラムが伝えられた。以下、プログラムに沿って内容を紹介する。

### A. 本年度のBMS部門目標（「育心育人」教育の推進）に関する報告（2件）がなされた。

まず、グローバルコミュニケーション学科が「人材育成目標・到達目標の明確化」及び「それを達成するための専門教育の体系化」と題して、学科が目指す人材育成目標の確認とその目標と授業科目との

整合性を検証し、シラバスにつなぐことに取り組んだ事例が報告された。次に、学習支援室より、平成 21 年度に本格的に開設された学習支援室について、開設までの経過や開設後の利用状況、今後の課題などについての報告があった。



**B. FD専門委員会による「FD活動報告」**がなされた。はじめに、FD専門委員会委員長による挨拶と今年度の活動報告があった。次に、授業評価アンケート担当のFD専門委員より、今年度の学生による授業評価アンケートの結果と、結果を踏まえた若干の考察と情報提供があった。その後、昨年度より情報収集を継続している、「学科および個人レベルで実施されているFD活動の実際」について、結果の報告や特徴的な活動の紹介などがなされた。最後に、今後本学のFD活動として取り組もうと考えている諸活動（教育ポートフォリオの導入やカリキュラム検討をきっかけとする組織的FD活動、教員相互による授業参観等）について言及がなされた。



**C. ソシオ活動の報告**として、1. 本学の子育て支援室が地域の中で実施している子育て支援活動について、今年度の活動報告等が行われた。2. エクステンションセンターより、本年度の公開講座の状況や地域における大学のあり方についての提言がなされた。

**D. 教育・研究支援プログラム採択事業報告**として、1. 人間福祉学科が可部地域で展開している「亀山ソシオ」活動の現状と今後の課題についての報告、2. 個人研究支援の採択をうけた本学教員による研究経過報告があった。

以上のプログラムが全て終了した後に、全体を通しての質疑応答がなされた。最後に学長による総評を経て、研修会は終了した。

毎年開催される本研修会は、1. 本学におけるFD活動について、継続的に報告がなされ、構成員の情報共有がなされること、2. 本学の教育改革の進捗状況に沿って、年度ごとにユニークかつ充実した活動報告がなされることに大きな特徴があるといえる。このような報告の場を通して、大学の教職員の意識改革が促進され、ひいては、教育現場における教育サービスの改善が促進されることにつながるのではないと考えられる。このような意味において本研修会は、本学のFD活動にとっても意義深い機会になったといえるだろう。

(報告者：溝渕 淳)